



關西大會及支部總會開催につきて

支 部 長

最近我國内一般の情勢を観るに動もすると時局目前の小康状態に眩惑せられて茲兩三年の間に必ず到来すべき眞の重大なる危機と云ふ事に對する認識が漸く薄らいたのではないかと思はれる節があるのみならず中には殊更に目を蔽ひ耳を塞ぎ強いて之を認識せざらんとするものがないでもない。斯くては帝國が今日迄莫大なる犠牲を顧みず銳意努力した効果も全く水の泡となりて再び外侮を受くる様な悲運に逢着すべく眞に憂慮に堪えないものがある。在郷軍人は茲に立つて益々非常時認識を深厚にし日本精神を復興し愈々結束を固くし更に之れを國民に及し眞に舉國一致の實を擧げ以て大國難突破に當らんとする異常の抱負を以て今回先づ第十六、第四師管聯合支部主催關西大會を引續き支部に於ては之が實効を收めんが爲支部總會を開催することになつたのである。兩會共一は桃山御陵に一は榎原神宮に參拜し二大英帝の神前に額きて吾人の至誠を奉告するのである。諸子今日は則ち此の兩三年後の危機を突破すべき偉大な準備と覺悟を要する時なるを思ふとき一日も安閑としておる事は出来ないのは申す迄なき事である。何れ關西大會及支部總會の決議に基き各分會も亦色々となさなければならぬ事業も出て來ると思ふ益々諸子の奮勵を願ふて已まない次第である。

宣言

世界無比ノ國體ヲ戴キ萬古不磨ノ皇道ニ培ハレ來レル我等日本臣民ハ常ニ報國ノ至誠ト確テ不拔ノ精神トヲ發揮セリ

過般我カ國是ハ聯盟ノ容ルル所トナラス遂ニ之ト離脱シテ東洋永遠ノ平和ヲ確保スルニ直進セリ是ニ於テ其精氣ハ能ク世界ノ迷霧ヲ拂ヒ旭光臨々トシテ天下ニ光被シツツアリ唯々恐ル内ハ國民ノ小康ニ狎レテ意氣ノ弛緩セントスルアル外ニハ情勢ノ變轉逆賭スヘカラサルモノアルヲ豈ニ一審ノ警懼ヲ加ヘサルヘケンヤ

惟フニ皇國ノ精華ヲ宇内ニ顯揚シ建國以降ノ皇謨ヲ翼成スルハ正ニ今日ニアリ平居國民ノ中堅ヲ以テ自ラ任スル吾人在郷軍人ハ當ニ自ラ戒メ自ラ奮ヒ益々報國ノ志ヲ堅クシ勇往邁進以テ前途ノ險峻ヲ踏破シ東洋永遠ノ平和ヲ確立スルト共ニ人類福祉ノ増進ニ寄與センコトヲ期ス

決議

一、武ヲ磨キ膽ヲ練リ戮力協心愈々團結ヲ鞏固ニシ以テ股肱タルノ重責ヲ完ウセンコトヲ期ス

二、業ヲ勵ミ安ヲ警メ不撓不屈日本精神顯揚ノ先驅核心トナリ舉國一致以テ時艱ヲ突破センコトヲ期ス

昭和八年十二月六日

帝國在郷軍人會關西大會

時局の推移に鑑み敢て同胞に提示す

陸軍大臣 荒木貞夫

我等は「浦安の國」の民である。平和を熱愛し神器三徳を奉じて正義公明を尊重する點に於て世界孰れの國民にも譲らざるの精神を有する。而して又「細支千足」の精神に生き降魔の劍に依存して、此國運現を貫徹せねば止まぬ氣魄と意氣とを永遠に傳ふるものである。これ實に我が國の精神であり又我國民の意識である。

我國が古今を通じて難難に遭遇する毎に學國愈々力を協志氣益々振起するは、一に至尊御稜威の賜とは申せ又國民同胞が本來の使命を自覺し此宏謀扶翼に凡ての誠を捧げる爲めである。最近數年稍もすれば國歩沈滞の風を示し外侮の兆さへあつた事は否み難い事實であつて、其因は、我國内の浮游層の興る亡國の願望の熾するのみが外國に餘りに鮮明に映つた爲め、自ら侮つて而して後自ら此恥辱に逢着したものである。幸にして此間に於ても我國民は内面的には健在であつたが、一度滿洲事變の起るや之れを契機として既往の怠慢と錯誤とを清算し、東洋和平に對し我等の堅持する信念と、國際信義に對し吾人の確守する道念とを高揚して、國際聯盟に對し反省を求めたが、終に其根本道念を一にする能はずして遺憾ながら之れと袂を分つに至り當日長くも大詔喚發せられ、國民は其奮ふ所を一にしたのである。爾來我等は、一意皇國日本の實相を内に顯現して人心の和と國力の充實に努力し、皇道を外に宣布して世界の信倚を高め、以て永遠の和平に寄與するに全力を盡し聖恩に酬い奉るべく奮勵し來つたのである。

然るに最近に至り外見稍小康を得たかに見ゆるや、同胞の内には一日の安を偷まんとし、國民必須の施設改善すら忘れ、對外問題に關しては稍もすれば國論の統一を缺く性燥急性と申せ、餘り淺薄に見えて如何にも残念至極である。外國人は我が日本を何と見るであらう。眼を張つて靜かに内外の情勢を眺めよ。内は思想、經濟、政治、教育、國防等果して日本の實相に即せるや、外は海軍問題、滿洲問題、通商問題、赤化問題等を巡つて列國との間に幾多の重要懸案がないであらうか。尙少しく深刻に考ふれば、悚然として肌を寒さる覺ゆるのである。我同胞は果して此儘にて何の自信ありて此諸難問題を解決して此危局を打開せんとする乎。

我等は、今や實に物興しつゝある我同胞の此精神と意氣とを以て、皇道の宣布を高揚して、更に衰亡の淵に沈まんとしてある東洋文化を振作し、行詰れる歐米文化に清新の氣を與へ、茲に東西文化融合への第一歩を築き、以て永遠への國際平和並に人類福祉の増進を希求すべきであると信ずる。

が、吾人は今日尙如此にして國內に覺醒の氣漲らず、皇國の實相を如何に顯現せんとするの氣魄を見ざるを浩歎するのである。今日の急は、唯此迫り來れる實相を眞劍に認識し、皇國の大事を察し、同胞互に過去一切の感情を擲ち閣下を捨て、兩三年の非常施設を急ぎ、其徳和力總實力を以て、内に先づ道義日本の社會相を具現し、外に皇國の實相を顯現せしむるに全幅の力を致すべきである。或は困難も苦酸もあらんか、同胞九千萬結束し克己一番其大勇を示すべきである。これありてこそ此難局打開の曙光を見出し得るのである。既に議論の秋でない。諸君と共に一路只此道程に邁進すべきを誓ひ、以て此際我が國體の尊嚴優秀を宇内に示し、世界平和樹立の先驅たらんと欲する。憂心を披きて、敢て同胞に提示する所以である。

一九三六年に對する國民の覺悟

海軍大臣 大角岑生

近頃非常時と言ふ言葉がよく使はれる。自分も亦現下の我國内外の情勢は非常の時であつて緊要一番せねばならぬことを固く信じて居る者である。而して事態が重大であらばある程今日が非常時である所以を充分に諒解得て居らねばならぬのであつて、人が非常時と言ふから自分も何か知らん非常時と思ふと言ふが如き漠然たる觀念で済ますことは出来ぬのである。勿論非常時に就ては人各々各様の感想があらうと思ふが、余は次の如く考へて居る。即ち去る三月二十七日國際聯盟退却通告に際し下賜せる詔書にも明なるが如く、帝國内外の情勢よりして、對滿洲國策の遂行は帝國死活の問題として之が遂行を期せらるゝこととなつた。此の大國策の遂行には國家の内外に於て打破解決せざるべからざる幾多の難關や重大問題が存在して居る。今日が非常時なりと稱せらるゝ所以も此所に存するのである。

然らば右述の重大問題とは具體的に言へば何んであるか曰く、帝國の滿洲國策に對しては列強は皆て其の反對的態度を表明したのであるが、右の如き態度を執るに立到つた原因は極々あるべきも、要するに東洋に於ける特殊の事情に暗く、又各國の國內の事情等に制せられた結果と見らるゝのである。従つて今後と雖も、彼等をして世界に於ける特殊の事情及帝國の眞意が、平和維持のために世界の平和を願念する以外に他意なく、平和維持のために世界の平和を願念に従ふの外に其の途なきことを知らしむること必要なりと思はる。然しながら若し今後強いて帝國の國策遂行に對し妨礙するが如きことある時は實力を以て之を排除するを要するものである。而して右の目的達成のためには内治外交、軍備各方面に絶大の努力を拂はねばならぬが殊に外壓の排除に對しては帝國海軍が極めて重大なる責任を持つて居るのである。此所に於てか補充計畫を含む我海軍充實計畫の如何に重要なか知るに足り、一九三五年の第二次「ロンドン」會議及此の機會となるべき華府條約に關する事項の重大性を益々増大することを知らねばならぬ。事熊の重大なること如斯しと雖も日本國民は決して驚くことではない。自ら好んで事を構ふべきではないが、唯外より仕向けられて已むに已まれぬ場合に備ふる準備さへして置けばよいのである。抑條約をなさんとする者には興奮と焦燥は禁物である。唯冷静沈著各自其の分に應じ著々として有形無形の準備を整へて居ればよい。史を繰り日本國民は再々今日の如き異常の時局に際會した。蒙古襲來による外患、足利末世に於ける戰國時代の混沌たる内患、日清日露の兩大戰役の如き、我國民に取つては今日に劣らぬ重大時局であつたのであるが、畏くも上に一天萬乘の天皇を戴き全國國民一致結束、克くこれ等の難關を切り抜けて來たので

本誌には修養、軍事、事業等を記載する外支那と聯合分會及分會との連絡に必要な事項が掲載してあるから役員持に分會長常務理事は必ず通讀するを必要とす



外國新聞の論評

日本の軍國主義

日本は百の平和條約存するとも、國策遂行の手段は戦争の外に無いとの觀念を以て動きつゝある。平和主義の疑ある政治家は相次で暗殺の厄に遭ひ、併も暗殺者は國士として尊敬せられ、今や自由主義輿論は全く逼塞した。暗殺の背後に強大なる秘密結社の存するの隠れも無き事實だが、新外務大臣は此の種結社中恐らく最も恐るべきもの、首領と關係あると言へば、其の庫國主義は疑ふべくもない。其の間大なる陸軍新算は既に決定し、一九三五年以後現行海軍比率維持の意の無いことも亦確定と認められ、又朝鮮北滿の軍事的鐵道、港灣築造其の他對露積極的工作は著々進捗の模様である。日本海軍が疾風の如く浦羅を占領するの日は遠きにあるまい(一〇、一〇、加奈陀「シテイズン」)

日米戦争説

日米戦争説に關して、日本では米國に對して最も不快を感ずる。日米戦争説の如き考へ得られない程なるにも拘らず米國人の了解し得ざる問題の爲に絶えず興奮しつゝあるを以て此の際日本の見解を考察するの有益だ(中略)

日印通商交渉

印度當業者は、印度産業獨の立場より日本側と商議を

軍備と壽府

一般民衆が軍備會議に何等の期待を有せざるに至つたの

露國の對日滿軍備の充實

滿洲國の成立以來露國に於て(十機)を有しニコリスク、ウけるロシヤの軍備現知するをラジオを中心とし各地に配備許さなかつたが、最近確實なる筋に達した情報に據れば、赤軍の極東への進出、集中並に諸施設は大體左記の通りであつて、其兵力に於ても、裝備に於ても、規模に於ても、露國時代にロシヤが第二次日露戦争を企圖しつゝあつた當時のそれを遙かに凌ぐものであることが明白となり、各方面より重大視されてゐる。大單位兵力最優秀裝備の九個師團騎兵師團一個、騎兵旅團一個合計十個師團を有し内四個師團と騎兵一個旅團をウラジオ、ニコリスクを中心とする地域に三個師團をハバロフスク、ブラエゴチニシクを中心とする地域に、殘餘の二個師團及び騎兵一個旅團をザバイカル方面に夫々配備空軍三百機(内超重爆撃機約四機)を有し、露國の兵力及び裝備構成上に置く重點の和進、補助的兵力の存在、各國軍備の相關性等の原因の外、各種の新事態は露國の權威を著し、特に日本は如何なる態度を取るか不明なるが、其の然らしむる所であるが、事の原因は各國が相互信託と了解とを欠くのにある、ヴェルサイユ條約に依り各國は軍備を約し、獨逸客年十二月軍備平等權を認められたるが、他面右に基く獨逸の主張を考慮する能はざる事實も亦現存してゐる。予は右相互疑感を除去する爲、最近露國及壽府に於ける會談に於て何等條約案を提出しなかつたが、實効的な幾多の提案を出して各國間に於ける和解の成立に努力した、萬一和件會議失敗に終らんか、政治上社會上恐るべき事態を生ずるであらう(一〇、五、伊國新聞掲載ムツソリーニ首相論文の要旨)

國民の熱誠による國防献金額

實に一千二百萬圓

今この事變勃發以來、國民の熱誠は凝つて精神的にも物質的にも國防に貢献するところ多大なるものがあることは屢報の如くであるが、現にその数字に現はれた國防献品の金額だけでも、最近の調査によればすでに一千二百萬圓を算することが出来る、勿論この献品は全國津々浦々に涉つてゐるが、今その主なものを擧ぐれば東京府の二百五十萬圓を筆頭に大阪府の百五十萬圓福岡縣の八十萬圓兵庫縣七十二萬圓京都府の六十二萬圓臺灣朝鮮の各五十五萬圓滿洲の三十三萬圓廣島縣の三十二萬圓神奈川愛知兩縣の各廿八萬圓三重縣の廿七萬圓等である

國防献金

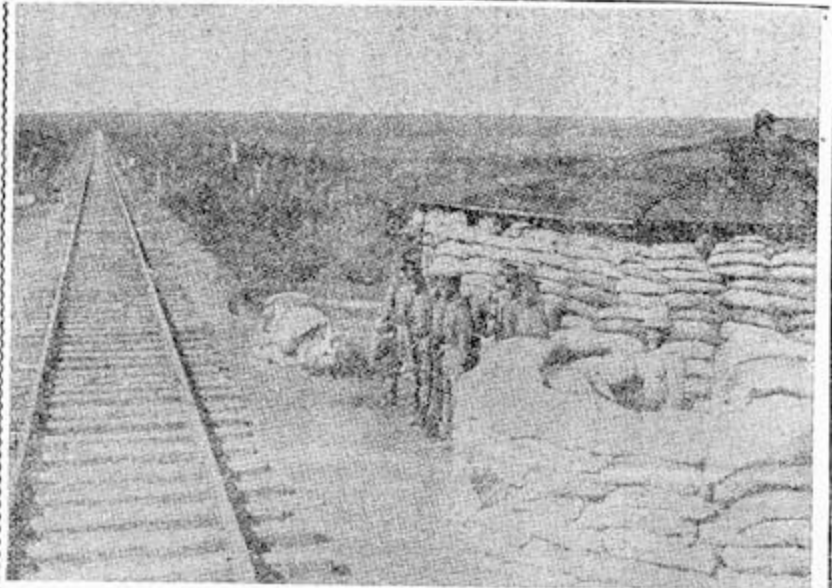
大詔煥發ノ精神作興週問中ニ於テ 國防献トシテ 申出デタルモノ左ノ如シ

- 七〇、五二 奈良市中學校長 古川正澄
- 五、五四 奈良市第二小學校三年生
- 中村泰子外三十三名
- 生駒郡生駒町生駒立野尋常小學校
- 二二、〇〇〇
- 二四、八九〇 吉野郡十津川村帝國在郷軍人中野區分會
- 五、三〇〇 南葛城忍海村尋常高等小學校分會
- 宇陀郡榛原町青年訓練所
- 奈良市金鐘中學校
- 一、一、五〇 添上郡樺本町尋常高等小學校
- 二、〇〇〇 生駒郡矢田村尋常高等小學校
- 一、〇〇〇 生駒郡生駒町尋常高等小學校
- 一、五五 奈良市第二尋常高等小學校六年生齋藤ヨシ子外四名
- 七〇 奈良市第四小學校 大西カズ子
- 一〇、〇〇〇 奈良市紀寺町 巽寅治郎
- 一、〇〇〇 磯城郡耳成村内膳 篠田菊男
- 一、〇〇〇 吉野郡黒瀧村小學校六年生 羽根悦
- 二、〇〇〇 奈良市瓦町高等二年生奥坊吉子
- 三、〇〇〇 奈良縣廳内自動車協會
- 三、三〇 天理中學校勤勞部生徒十名

國民に對する檄文

我民族の政治的及經濟的生

獨逸政府は客年十二月十一日平等權を認められたるに依り再び軍備會議に参加すべき旨を聲明したが、各國代表は公式演説及獨逸外相等に對する直接聲明に於て現在の獨逸に對しては此等平等權を認むることを得ない旨を表示した



備警の原曠 (橋鐵河鐵折方西鎮安也) (兵備守の隊部知の舎艦備守)

軍歌に就て

【支部長報資料】

海軍に於ては土曜、日曜、祝祭日、記念日等に夕食後或は式後軍艦に於ては上甲板、部隊に於ては營庭等に全員集合して聲高らかに軍歌を歌ふのを例とする。軍歌は歌詞、歌譜共に勇壯にして男性的である。これを歌つて居れば自ら精神に緊張味を覚え知らず敵らず歌中の人となり感激に満ちた場合は思はず涙を催すことさへある。

揚子江沿岸とか上海とかに警備の爲各軍艦が澤山集つて居る際日本の軍艦で勇ましく軍歌を歌ひ出すと何れも皆不思議相に上甲板とか江岸時折上甲板で「ダンス」を練る。

(一) 海軍志願兵の使命

我が海軍はなぜ志願兵の採用に重きを置かねばならぬか。それは色々の理由もあるが、分り易く簡単に謂へば次の通りである。

一、日本獨創の優れた艦船兵器等々の活用は優れた日本青年の手に依らねばならぬ。

二、最新知識を集めたる海軍を諒解するには長期の服役を要す。

三、優秀有爲の軍人の養成。

四、准士官、特務士官としての活躍期待。

戦艦陸奥、長門も巡洋艦高雄、那智も乃至驅逐艦、潜水艦、航空機もその効力の發揮には志願兵の力に依つて多量に海軍の活動の舞臺は太平洋!! 其處に内容充實したる我が海軍の存在は平戦時に於ける帝國の繁榮と防衛に欠くべからざるものである。されば思想堅實にして學力體力共に優秀なる全國の青少年が、眼を帝國の前途に注ぎ奮つて身を海軍に投ずることは、將來益々その必要を感じられぬ。

(二) 志願兵の採用

志願兵の採用人員は年々大凡左の通りである。

水兵 三、三〇〇名
電信兵 三、七〇〇名
航空兵 一、六〇〇名
機關兵 一、八〇〇名
軍樂兵 六〇〇名
看護兵 一、三〇〇名
主計兵 三、二〇〇名

(三) 各兵種の職務概要

志願者は、先づ第一に自分の志願する兵種を定めねばならぬが、これには、次に書いてある各兵種の職務の概要及び入籍後の學校教育の實情等を研究し、自分の性格體格、學力等を考慮して最も相應する兵種を選ばねばならぬ。

志願兵種には第一何々第二何々と二つ申出るのが宜しい、而し一旦兵種を定めて入籍してからは兵種を變更することは出来ぬから、吳々も慎重に決定せねばならぬ。

志願手續及徵募検査

志願兵の徵募事務は各府縣に依つて夫々僅かの差異はあるが、大凡十一月頃から志願書の受理を開始し、翌年一月から三月迄の間に徵募検査が行はれる。

志願者は右募集があつたら親権者の同意を得た上で、志願書を作り期日に遅れぬ様に市區町村長を経て地方長官に出願すればよい。志願書の様式、検査期日場所等詳細は市區役所又は町村役場に就いて問合はせればよい。

志願者の年齢は各兵種に依り定められ、採用の年即ち昭和九年十二月一日現在で計算するもので詳細は左表の通りである。

兵種	年齢	出生
水兵	自大正三年三月三十一日以前	自大正三年三月三十一日以前
電信兵	自大正三年三月三十一日以前	自大正三年三月三十一日以前
航空兵	自大正三年三月三十一日以前	自大正三年三月三十一日以前
機關兵	自大正三年三月三十一日以前	自大正三年三月三十一日以前
軍樂兵	自大正三年三月三十一日以前	自大正三年三月三十一日以前
看護兵	自大正三年三月三十一日以前	自大正三年三月三十一日以前
主計兵	自大正三年三月三十一日以前	自大正三年三月三十一日以前

護國共濟會の近況

兵役義務者の經濟的負擔に對し我國兵制の本義に基き國民協同の力を以て之が準備を整へしめんとする趣旨の下に創設せられたる護國共濟會は約一年有餘の間慎重に周密なる調査研究を遂げ概ね其成案を得時之を發表して居つたのであるが其案の要旨は次の通りである。

第一、互助共濟施設の根本方針に依ること

第二、施設は共濟組合の形式に依ること

第三、設立及加入は國民の學問的義務たらしむるを原則とする

日本國民に懇ふ

町亦之に倣ひ目下組合設立の準備中である。尙福島縣下に於ては共濟會の趣旨を克く理解せられ來奉頃迄は縣下一般に共濟組合設立の氣運に向ひつゝある又福島縣以外に於ても同會に於て又書又は直接普及指導に努め又地方委員(主として市區長、町村長)及び在郷軍人會聯合分會長)の大なる努力に依り漸次普及せられ殊に大阪、市に於ては組合設立の準備中又岡山市に於ても近々其の準備に取掛る情況にあり他處に於ては護國共濟會と有志代議士との協力により來議會には護國共濟組合法案及國庫補助案も提出の準備中であつて目下該法案を鋭意審議中である。

滿洲事變記念日 際し

これは前號の續き) これについては議論がある。それを言ふたら縛られるかも知れない。私は、今縛られるのは御免だから申上げぬ、けれども、その由つて来る所は又その躍動の根柢を爲して居る所の光輝ある精神に、又その動機に、苟くも日本國民である以上、不同意の人、異論のある人が一體幾人ある、同じ精神が、この九月十八日に爆發したのである、苟くも、諸君が、九月十八日を記念するといふなら、少くともこれらの事件の動機なり精神なりを惡いと言ふことは出来ぬ。それだけは、あなた方は御承知だらう……。

で、かういふやうに考へて見ますと、先程私が述べました意味だけぢやない、この九月十八日の事變を偶々契機として、我が國民がこの日復活の途に上つたのである、日本精神に起り初めたのである、既に起りつゝあつたから起つたんである、が、拍車をかけ更に其速度を増したのだ、一般國民はこの事變に刺戟されて、さうして、愈々ハツキリと意識して日本精神に起る方向に突進したのである、假に

は特別の組織と爲すこと

二、國庫補助及公費の補助を行ふこと

之が爲め國庫補助に付ては案を具し政府及議會に對し建議又は請願し其の他實現に必要な方策を講ずること

三、公費の補助に付ては夫々地方廳以下關係方面へ建議及請願等を爲し尙必要な方策を講ずること

四、大なる後援財團を設立すること

五、官民一般に本會の提唱せる趣旨を普及徹底せしめ共濟施設の設立を指導獎勵すること

六、各種定款の範例を作製すること

七、共濟組合の設立並之が獎勵上必要な法律を制定すること

第三、共濟組合の給付及掛金

一、給付

1. 給付額は兵役義務者の家庭の減收を基礎として定むるものとす

2. 給付額は一年百圓乃至五百圓とす

但し實際の給付は年々豫算を以て之を定むるものとす

二、掛金

掛金は一年一戸貳圓以上とする

但し組合の狀況に依り掛金の一部又は全部を物又は勞力を以て代ふることを得るものとす

右の案に基き逐次之が普及指導に努めたる結果已に福島縣田村郡片倉村に於ては去七月學村一致護國共同組合なるものが組織せられ兵役義務者の經濟的負擔を益々整へられ殊に從來の通弊たる入退費の雜費の如きは此組合に於ける厳格なる規約の下に之を規定の元費を省くことが出来るやうになつた

此組合が設立せられたる結果單に兵役義務者の負擔を軽減和したるのみならず村民の生活の安定善良なる思想の維持延びては自治體内の精神的團結益々強固となり其及ぶ所の有形無形上の利益實に大なるものがある、片倉村に於ける護國共同組合の設立を見て其の隣町常葉町、小野新



分会の活動

(三画より續く)
 満蒙がどうならとも、蓋しこれだけで、この事變は我が大和民族史上にえらい光彩を放つものではあるまいか、い、満洲國承認を断行したではないか、それから、更に聯盟退を敢行したではないか、これ等は皆日本精神に起つた立派な證據である、これらにこれ等事象を以て、諸君は何を物語るものと思ふか、即ち我が國民が日本精神に起つた立派な證據である、唯我が生命線を守り且つ東亞全局保持の國策を遂行するの途に上つたと云ふだけのこと、實は之を機として、精神的に消極であつたものが積極に變り、退却が進出となり、生氣瀾の心地に移り、漸く自主の氣持に轉じて自己の使命に目醒め來つたのである、かくなりてこそ初めて、明治大帝の御遺策を奉ずるに稍々庶幾からんかと云ふことになるのではない、私は從來、我が滿蒙は我國の生命線なりと御承知のやうに叫んで來た、が、その時は主に、國防上、經濟上さう考へたのである、何んぞ知らん、今日になつて見れば、滿蒙は精神的にも亦我が國の生命線であるといふことに氣がついた、斯く考へますれば益々以てこの日は記念せざらんと欲するもせざるを得ない

更に事變の前後と事變後の經過とに就てもう少し加へて申しますと、事變以來二年間の二年の初まり頃と、眞ん中頃と今とは、大變な差があります、初まりは、正直に申しますと、我が有識階級の人達は——我が政府すら——昭和六年九月十八日の夜、號外を見、それから翌朝の朝刊で滿洲事變の勃發を見て、ビツタリ仰天したのである、腰を抜した人もある、呆然としたその意義がサツパリ分らないそれは、私が今晩の講演の始めに申しましたやうに、あの當時、國民が一體滿蒙問題に無關心だつたのでこの事變の報に接して唯「何んだらう」といふ有様であつた(以下次號)

龍田町分会
 十月三十日同町川畔忠魂碑前に於て盛大なる招魂祭を執行す

五條町分会
 十一月九日 大昭喚發記念事業として國防献金募集のため廢物の寄贈等を受け大いに初期の目的を果し得たり

川上村分会
 十一月九日午前九時於川上神社境内昭和八年度壯丁に對して現役兵證書及補充兵證書の傳達式を最も厳肅に施行し壯丁をして將來に對する責務の重大なるを自覺せしめて有意義に終了す

十津川村中野區分会
 當分会は精神作興週間に於て十一月六日對外國際情況の趨勢及此等に對する認識を明確ならしむる爲の印刷物を作製し各戸に配布して時局の觀念を旺盛ならしめ又十日には當日を(むすびの日)と定めて當日各戸の生計費を節約せしめて依て得たる金を國防費として献納す

高取町分会
 十月十日分会員三十五名は非常時局の重大時に直而して郷軍の健康及武藝の習熟の必要なるを痛感し奈良に至る迄強行軍を續行し藤原射撃場に於けるや嚴肅に實彈射撃大會を施行す、十月十四日支事變を意義あらしむるべく一般村民に對して時局を深刻ならしむるべく高取劇場に於て非常時日本の映畫の夕を開演し所期目的を達成す

平野村分会
 十一月七日同村役場議事室に於て昭和八年度壯丁に對して現役兵證書並に補充兵證書の傳達式を執行す、時恰も精神作興週間の第一日にして壯丁に對して將來に於ける自己の立場の重大なるを深く印象せしめて有意義に終了す

法隆寺村分会
 十一月十日當分会は記念事業として分会事務所を會員集合して村民一同に對して節約の精神を徹底せしむる如く議し最初期に於ける冗費を絶對禁止する趣旨の印刷物を各家に配布して之れが徹底を期す

當麻村分会
 十一月三日當村小學校に於て本年度壯丁に對して現役兵證書及補充兵證書の傳達式を執行す

針ヶ別所村分会
 七月三日當村分会事務所に於て本年度壯丁に對して現役兵證書及補充兵證書の傳達式を執行す、村長及び分会長の非常時局に直而しての兵役の重大さを感銘せしめて壯丁をして意義ある傳達式を終了す

政治村分会
 十一月十日は國民精神作興週間の事業として國民精神作興に關する 御詔書の謹寫せるを各家に分配して村内一致和協して相面せる非常時に邁進せんことを普及す

丹波市町分会
 十一月八日午前九時より丹波市町議事室に於て本年度壯丁に對して國防觀念の徹底と軍事思想普及を圖り現役兵證書及補充兵證書の傳達式を最も嚴肅に執行す

上ノ郷村分会
 十一月二十三日朝鮮龍山野砲隊よりの除隊兵小西君を出迎へるべく分会員は全員其の他村内有志多數歡迎し一同心よりなる祝意と敬意を表す、十一月六日午前九時より同村役場に於て本年度壯丁に對して現役兵證書及補充兵證書の傳達式を實施す

十一月十日精神作興週間として午前七時三十分を期して分会員全員集合して各大字の神社に參拜し次で午前九時中央丸尾山忠魂碑に參拜し精神作興の 御詔書を奉讀し有意義に散會す

下田村分会
 十一月十一日國民精神作興に關する 詔書奉讀式を執行し、郷軍の時局に對する責の一層重大なるを自覺せしめて意義深き學式を終了す

東市村分会
 十一月二十八日同村議事室に於て昭和九年度入營入團兵奉告祭並に歡迎別式を森嚴に執行す、極めて入營兵を擁護せしめ盛會裡に終了せり

十一月十一日學村村社吹奏社に於て國民精神作興に關する詔書奉讀式を施行し嚴肅裡に終了す

柳本町分会
 十一月七日精神作興週間に關する趣旨徹底を圖る目的を以て精神作興週間實施につきてのポスターを作製し各家に配布し十一月十日より郷軍率先指導し作興週間の目的を有意義に遂る

小川村分会
 十月二十六日午後七時より同分会事務所に於て役員會開催し忠魂碑前參道敷地買収の件及國防思想普及の目的を以て大陽軍事劇團招聘に關する件等を協議す

國標村分会
 十一月三日同分会主催にて天満座に於て晝夜に亘り軍事思想普及の目的を以て大陽軍事劇團を招聘して一般村民に對し多大の感動を與へて有意義裡に終了す

治道村分会
 十月九日午後一時より同村小學校に於て佛式招魂祭を施行し後秋季總會に移り午後三時より奈良支部本多中佐の軍事講演ありて午後六時散會す、十一月二十一日石川に集合を令して正規の服裝の要否を點檢し藤原射撃場に到り實彈射撃を行ひ終了後歩三八に到りて新兵器を見學し大いに軍事新智識を得て有意義な見學を終る

郡山町分会
 九月三十日より四日間武術の練習會を開催、同十月八日幹部協議會開催し軍事思想普及方法及秋季總會及實彈射撃大會に關する件等を協議す

富雄村分会
 十月三日、四日の兩日當村小學校庭に於て青年訓練の查閱を開催せられしにより會員之が指導並に援助に努め青訓查閱を優良なる成績により終了す

十一月十日國民精神作興に關する詔書奉讀式を同村小學校に於て舉行し終了後富雄村二名小學校々々含新築なるにより郷軍協同勤務に従事し麗はしき犠牲的精神の發露を以て終了す

宇太村分会
 十月三十日を卜して秋雨注ぐ式場に忠魂碑除幕式を舉行す、來賓として奈良支部より木田中佐及村外有志の來會を得て盛大且嚴肅に舉行せらる

吐田郷村分会
 十月十五日午後一時より奈良聯合官坂本大佐を招聘し軍事講演會を開催す、時局に關し有益なる講話あり終りて引續き餘興として軍事演劇會を開催し午後七時盛會裡に散會す

上市町分会
 十一月三日午前九時より上市町横町西院に於て招魂祭を執行し引續き宮の谷射撃場に於て射撃大會を開催して郷軍の意氣大いに擧り午後四時盛會裡に散會す

大淀町分会
 十一月三日午前十一時同町忠魂碑前に於て戰病死軍人の招魂祭を執行す

榛原町分会
 十月十五日同町小學校に於て時局認識日とし軍事能力増進の目的を以て武術大會を開催す、出場者の熱心にして勇壯果敢大いに郷に在るつわもの眞面目を發揮し盛會裡に散會す

奈良市朝日分会
 十一月三日の明治節の佳節を卜して於春日神社朝日分会々々旗入魂式を舉行し盛會嚴肅裡に終了す、午後一時より軍事講演及餘興會を開催す

三宅村分会
 十一月七日午後一時より同村小學校に於て日清日露戰病死軍人招魂祭を舉行し盛大裡に終了す

阪合村分会
 十月二十九日於同村小學校秋季總會並に軍事講演會を開、來る十一月三日午後一時於同町小學校戰病死軍人招魂祭を舉行し盛會裡に散會す

生駒町分会
 十月七日假設充員召集の要領により同村小學校に集合せしめ、射撃大會を開催し午後三時盛會裡に散會す

片桐村分会
 十月十五日同町役場に於て役員會を開催す、十月十四日午前九時より日清日露戰病死軍人の慰靈祭を舉行し盛會裡に終了す

田原本町分会
 十月十五日同町役場に於て役員會を開催す、十月十四日午前九時より日清日露戰病死軍人の慰靈祭を舉行し盛會裡に終了す

阪合部村分会
 國民精神作興週間の意義深き第一日同村議事室に於て本年度壯丁に對して現役兵證書及補充兵證書の傳達式を執行し非常時に立つ諸氏の任や重大なるの觀念を深刻ならしめ意義深き傳達式を終了す

多武峯村分会
 十月三十一日午前九時より談山神社境内に於て同村出身戰病死軍人の招魂祭を施行す、終了後引續き秋季總會を開催す



於ニ場撃射谷ノ宮會分町野吉 日三月一十年八和昭

登録 陸海軍御用達
 清涼劑福美丹
 外優良賣藥 十數方製劑卸
 キ、メで 惚れられ 印ですかれ 同じ召すなら ふうくの薬

商標

高市郡寺岡(高野村) 高市郡東郷(高野村) 高市郡東郷(高野村) 高市郡東郷(高野村) 高市郡東郷(高野村) 高市郡東郷(高野村) 高市郡東郷(高野村) 高市郡東郷(高野村) 高市郡東郷(高野村) 高市郡東郷(高野村)

房薬やくふ

陸軍御用達
 各國時計 貴金屬 多賀時計店

奈良市下清水町 電話一〇九一番